

臨床研修センターだより



Vol.23 2016.2.15

～初期研修医懇談会を開催しました～

1月22日(金)の夕方に臨床研修管理委員会主催の初期研修医懇談会が開催されました。

院長、院長代行、副院長、院長補佐、事務局長等の病院幹部や臨床研修管理委員、臨床研修センタースタッフが参加し、参加者は初期研修医とあわせて総勢51名でした。

まず、蛭名臨床研修センタースタッフより、当院への初期研修医選考試験の受験者が減少した時期にその原因を探るために初期研修医に対して行った「研修プログラムの改善点」に関するアンケート結果をもとにミニレクチャーを行い、グループワークにつながる話題を提供しました。当時のアンケートには、「当院の初期研修の強み」、「考え得る初期研修志望者減少の理由」、「改善点と改善案」に関する多くの意見があり、それをもとに救急部や内科ローテーションに関する改善を行うとともに、病院見学者に対してより当院のことを理解してもらえるよう病院見学プログラムの開始、研修医の意見や思いを吸い上げることが目的に初期研修医が所属する臨床研修センターの立ち上げ等を行ってきました。当時の初期研修医が提案した改善案の多くは現在実現しており、その中には初期研修医教育に関するものだけでなく病院全体に関するものまで含まれています。つまり、初期研修医教育を見直すことは、初期研修医教育の質を改善するだけでなく、病院全体の医療の質を改善する可能性があることが示唆されました。

次に、井上臨床研修センタースタッフの進行のもと、参加者全員が数名単位でグループをつくり、「研修プログラムの改善点」をテーマにグループワークを行いました。病院幹部等を含む指導医や研修医から様々な意見があり、今後は、本会で挙がった意見をもとに当院の臨床研修をよりよいものにできるよう努めてまいります。



今回は「食」の改善を求める意見が印象に残りましたね。思い返すと昨年は「焼肉」がキーワードでした。やはり人間である以上は「食」への欲求は性でしょうか…。しかし別の視点で考えると、そんな話が出せるのも研修内容が充実してきたおかげとも言えます。

現在の研修内容は過去の研修医の先輩達が作り上げてきた歴史の産物でもあります。かくいう私も過去の研修医の一人ですが、当時を振り返るとこんなに良い研修体制になるとは全く想像も付きませんでした。何故当時に「当院の研修は最高だ！」なんて思っていたのかが不思議なくらいです(笑)。

次の未来でも「昔はひどかった…」と笑い話にできるくらい改善できているように、今後も臨床研修センタースタッフとして精進させていただきます！

(救急部・臨床研修センタースタッフ 井上彰)



～平成 28 年度オリエンテーションの準備を始めました～

新規採用初期研修医の先生方に対して、4月1日から8日までオリエンテーションを行います。院長からの講義や医療安全・感染管理の研修などの座学から始まり、静脈路確保実習、小児救急、BLSコース、ICLSコース等の実技、救急指令センター見学など充実したオリエンテーションを行うことで、4月11日から始まる各診療科での研修に備えます。

そこで、平成 28 年度オリエンテーションについて、臨床研修センタースタッフの蛸名先生、初期研修医 1 年次の荒井先生、河野先生、建部先生、村上先生からコメントをいただきましたのでご紹介します。



新 2 年次の先生が中心となって準備を進めています。新 1 年次の先生方には、1 年後に自分が指導する側になるという事を意識して積極的に学んで欲しいです。今年は例年に比べ期間が短いですが、充実した内容には変わらないので、楽しみにしてください。(救急部・臨床研修センタースタッフ 蛸名正智)



☆楽しく充実したオリエンテーションになるように精一杯準備しています！(荒井宏之) ☆これからの研修生活で困らないよう教えていくので楽しみにしてください！会う日が楽しみです！(河野裕之) ☆みんなが安心して研修が始められるよう充実したオリエンテーションにしたいと思います。お楽しみに。(建部将夫) ☆オリエンテーションと一緒に勉強しましょう。4 月を楽しみにしています。(村上学)

～初期研修医もいろいろな会議に出席しています～

当院では様々な委員会があり、その中には初期研修医が出席しているものもあります。各委員会がどのような目的で開催され、その取り組みがどのように医療現場へ還元されているか、お話を聞きました。

○ 医療安全リーダー会議

医療安全リーダー会議の主な目的は、院内における医療安全を推進することです。初期研修医が担う役割も大きいことから、初期研修医の代表者も参加しています。2 か月に 1 回、様々な部署から参加される方々と医療安全について考える機会は非常に貴重であり、自分自身としても医療安全についてより深く意識するようになりました。(初期研修医 2 年次 吉田 一史)

○ 感染防止委員会

感染防止委員会は、主に院内感染症の発生・拡大を予防することを目的に開催されています。月に 1 回、各科から 1 人ずつ委員が参加し、ICT(感染制御チーム)からの多剤耐性菌(MRSA 等)の発生報告や、特殊な対応が必要な感染症(結核、ノロウイルス等)についての説明を聞き、各科に持ち帰るようになっています。このような取り組みがなされることにより、院内感染等を最小限に減らすことができ、患者さんの安全や医療資源の節約に役立つものと考えています。(初期研修医 2 年次 前田 徹朗)